

あなやま

社会福祉法人 信和会

〒407-0263

山梨県韮崎市穴山町 5164

TEL0551-25-5900

FAX 0551-25-5906

<http://www.sip-shinwakai.jp>

編集責任者 栗原 信



表紙 穴山町次第窪氏神～鷲宮神社～

理事長就任にあたり

社会福祉法人 信和会
理事長 栗原 信



6月の理事会にて、新理事長になりました。栗原信です。

まず、3月11日の東日本大震災でお亡くなりになられた方にお悔やみを申し上げるとともに被災された方にお見舞い申し上げます。被災された地域には1日も早い復興が進むことをお祈りいたします。

社会福祉法人信和会の職員も数名が現地へのボランティアに参加しております。福祉を取り巻く環境も、障害者総合福祉法、介護報酬の見直しと日々の対応に苦勞している状況ではありますが、私たちの仕事は、利用者のためにサービスを行うということには、基本的に変わりがないことだと思います。

さて、社会福祉法人 信和会は昨年25周年を迎えました。今年26年目に初代理事長から数え、私で5代目の理事長となります。その5代目の理事長として就任の挨拶をさせていただきたいと思ひます。

若い理事長であるため、過去の理事長のように経験と言う点では、かないませんが、若さを生かし歴代の理事長からのよき伝統を受け継ぎ、変化を恐れずにさらに発展できるように、職員1人1人の力を借り、マンパワーを生かしながらい進めていきたいと思います。

私の目指すべき法人像として、参考にしている文章があります。福沢諭吉が慶應義塾を發足した目的の中の一文です。

「慶應義塾は、単に1所の学塾として自ら甘んずるを得ず、その目的は我日本国中に於ける氣品の泉源、智徳の模範たらんことを期し、之を實際にしては居家、処世、立国の本旨を明にして、之を口に言うのみにあらず、躬行実践、以て全社会の先導者たらんことを欲するものなり」

慶應義塾出身者が現在の社会の中で、中心的存在になっているのは、先生やOBの方がこの福沢諭吉の考え方を学生に徹底して教育するため、他の学校とは違い、常に先導者たるために努力をしているといひます。

社会福祉法人 信和会も「福祉施設の先導的な役割を果たすために」と歴代の理事長が唱えた言葉があります。まさに、この福沢諭吉が唱えた言葉と同じ思いをもった言葉であると思ひます。この先導的な役割を果たすためのキーワードとして福沢諭吉が特に唱えた言葉があります。

- 「独立自尊」 「独立」は権力や社会風潮に迎合しない態度
「自尊」は自己の尊厳を守り、何事も自分の判断・責任のもとに行うことを意味
- 「氣品の泉源」 品格を備えた社会の先導者になること
- 「社中協力」 全ての法人関係者は法人の運営を支えていくこと。
- 「自我作古」 前人未踏の新しい分野に挑戦し、たとえ困難や試練が待ち受けていても、それに耐えて開拓に当たるといふ、勇氣と使命感を表したことば
- 「半学半教」 学業に進んだものが他のものを教え、同時にさらに上級のものに学ぶ、学問に対する志を同じくするものが、協同でささえる。

この考え方を、職員1人1人が意識したときには、この社会福祉法人 信和会から福祉の先導的な役割を行える職員が育つ法人となると思ひます。

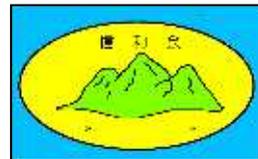
福祉の現場は、仕事として決して楽しいことばかりではありませんが、人のために行動をし、喜んでいただけるという点では、直接に反応が返ってきます。人のために行動を起こすことは、その人のことを理解するということであり、それは、自分自身を知ることであり、私たちの人間としての基礎をつくり、人格を磨いていく場所であると思ひます。福祉という仕事はそういう仕事ではないかと考えます。

私は、理事長として、職員の皆様ができることは、事業の継続と安心して働ける環境を作ることだと思ひます。一緒に福祉の道に進んだ仲間として、職員の皆様は、利用者のため、一緒に働く仲間のため、家族のため、地域のために、一緒に汗をかいていただきたいと思います。

そして、職員1人1人が自信を持って仕事をし、知り合いの方から社会福祉法人信和会の施設を利用したい、また職員の子どもから、親の働いている職場で働きたいと言っただけの法人と一緒にしていきたいと思います。どうぞよろしく、お願いいたします。

本部だより

社会福祉法人 信和会 法人本部
〒407 - 0263 韮崎市穴山町 5390
0551-25-6100
E-mail: honbu@sip-shinwakai.jp



理事会・評議委員会報告

- 開催日：平成23年5月21日(土)
開催場所：穴山の杜 集会室
審議次項：第1号議案 平成22年度 事業報告
第2号議案 平成22年度 決算報告
第3号議案 監事監査報告
第4号議案 共同生活事業(ケアホーム)の開設について
第5号議案 理事・評議員の選任について
第6号議案 その他



平成23年度になり初回の理事会・評議員会が開催されました。
平成22年度の法人、各事業所の事業報告、平成22年度の決算報告及び、会計監事による監査報告があり、全て御承認を頂きました。

また、本年6月20日をもって役員の任期満了に伴い、理事・評議員の選任が行われました。理事には古井明男様、堀井満様、下條順子様、伊藤紀元様、剣持正明様、栗原徳昌様、栗原信様が選任され、以上7名の理事の互選により新たに栗原信様が、当法人の理事長に就任いたしました。評議員は、伊藤紀元様、岡田邦男様、古井明男様、栗原信雄様、剣持正明様、香田茂臣様、篠原郁夫様、下條順子様、曾根シズ様、平出光彦様、堀井満様、守屋直嘉様、寺井英仁、河西久美様、輿水秀志様の15名が選任されました。監事も引き続き岩下良一様と藤巻譲治様が選任されました。すべての役員の皆様から就任のご承諾を頂き、社会福祉法人信和会がますます地域に貢献に出来る法人となれるよう、運営に携わってまいります。

共同生活介護事業所 ケアホーム 宿尻も無事開所し、法人としても新たな一歩を踏み出しました。法人の役員・職員一丸となり、各事業所、すべての利用者にご満足いただけるサービス提供を追求して参りたいと考えております。

共同生活介護事業所 ケアホーム 宿尻が開所いたしました。

地域移行支援として新たにケアホームを建設し、この度、平成23年6月1日にケアホーム宿尻の開所式を終える事ができました。

当日は信和会会長、望月設計様、南伸建設様、韮崎市議会議長嶋津鈴子様、韮崎市障害福祉課関係者、信和会役員の方々、近隣の方をお迎えし、ケアホーム入所者、保護者、世話人、及びケアホーム担当職員で開所式を行いました。

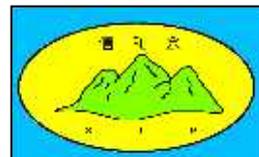
建設にご尽力頂きました、望月設計様、南伸建設様には法人を代表しまして会長より感謝状を贈らせて頂きました。また梁を基調としたデザインに天窓より明るい光の入る廊下、珪藻土で塗られた壁、完全個室のプライベートスペースにクロゼットを完備された居室等施設内を見学していただきました。

ケアホームが開所出来たのも、日ごろより地域の皆様のご理解、ご協力があり、実現した事とありがたく感謝申し上げます。今後も地域の皆様にはご協力して頂く事が多くありますが、よろしくお願いいたします。



穴山の里だより

障害者支援施設 穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 5164
0551-25-5900
E-mail : sato@sip-shinwakai.jp



ケアホーム入所にあたり 保護者 弘津 力

平成 23 年 6 月 1 日 ケアホーム宿尻の開所式が行われ、穴山の里から 6 名の利用者が入居しました。真新しい設備の個室、ダイニングルーム、洗面所、調理室、浴室、トイレ、庭園に恵まれて、利用者たちは嬉しそうにしながらも緊張している様子がうかがわれました。



今後 3 名はわ～く穴山の里、もう 3 名は穴山の里で日中活動をするそうです。

振り返れば私の息子は 18 歳で穴山の里に入所させて頂き現在 40 歳になります。入所時には心身ともにこんなに成長するとは思いませんでした。昔は少し歩けばフーフー言っていたのが、今では少し歩くと私が追いつくのを待ってくれたり、荷物も黙って重い方を持ってくれます。また、一時帰省の時はまず手がんなで庭の草取りを行い、朝のラジオ体操、食事、清掃、洗濯、買い物の手伝い等よく働いてくれます。その他に小旅行や都電に乗ったり、以前に連れて行っていただいた上野動物園が気に入り今年も園より帰宅後、見た動物を全部日記帳に書いてあるのにはびっくりしました。

ここまで育てて頂いた穴山の里、今からお世話になるケアホーム宿尻、自立に向けてお仕事を提供し、ご指導頂けるわ～く穴山の里、土地を提供して下さいました嶋津様、何かとお世話いただいた役所の方々、今後、今まで以上にお世話になります近隣の皆様、皆様方のご好意で息子たちは生活をして、成長をしていくことができます。

私達保護者は年齢を重ねるごとに衰えていきますが、まだまだ気力を振り絞りながら側面的にバックアップをしていかなばと思っています。

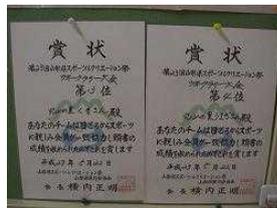


～ふれあいウォークラリー山梨県大会に参加しました～



5月22日山梨県レクリエーション協会主催ウォークラリーに参加し、クイズやゲームをしながら、ゴールを目指しました。クイズでは、難しい場面もありましたが、皆で協力して乗り切ることができました。地域の方とのふれあいや、新府城での昼食。外で食べるご飯はいつも以上に美味しく感じました。結果は早さではなく、想定時間にどれだけ近いかで競われ、何と3位と4位になることができました!! 賞状を頂き、思わず嬉し泣きしてしまった利用者さんもいたほどでした。途中雨に見舞われましたが、皆の笑顔が見られた一日となりました。

次は1位と2位目指してがんばりたいです。



穴山の里保護者会から童謡コンサートのチケットをプレゼントして頂きました。コンサートは、昨年、『法人設立25周年の集い』にお招きした大庭照子様のもとで開かれました。

皆、外出用におめかして、韮崎文化ホールに出かけました。

コンサートが始まると、お馴染みの大庭照子さん・星野ひな子さんの素敵な歌声に、時間を忘れて聴き入りました。そして、今回はDOYO組のお二人も登場し、ポップで明るいステージに合わせ、一緒に歌って踊って、体全体で音楽を楽しみました。懐かしい童謡のメロディーに、心和むひとときを過ごすことができました。

東日本大震災、被災地応援に・・・

山梨県知的障害者支援協会の要請で穴山の里から中澤・渡井の二名が宮城県名取市にあります、社会福祉法人「みのり会」るばーとに2日間行ってきました。

内容は利用者の直接支援ではなく、給食を開始するにあたり、津波で埋まってしまった食器や書類等を掘る作業でした。

5月23日午前9時、他の施設職員と合流し、男4名・女2名の6名で出発しました。中央道から東北道を使って目的地を目指して車を進めて行きました。田ノ原辺りから震災のあとが目立つようになり屋根の上にブルーシートがかけられてあり、道路の至る所が陥没し補修の跡が生々しかったです。走行距離630Km、7時間30分の移動でした。翌日から作業を開始しました。施設に入ってまず驚いたのは、1階のドアの高さを超える所に、泥水の跡が残っていたことです。泥に埋まった書類は重く、腐敗もすすんで異臭を放っていましたが被災地の為にと思い頑張りました。まずは書類等を掘り、その後必要な物と不必要な物に分別しました。

宿泊場所から被災した施設に向かう途中、周りの状況、景色がめまぐるしく変わり、船や車が至る所に散乱し、崩れた家屋が目につきました。まるで爆風で家が飛ばされた感じでした。その壊れた家屋を集めた所が小高い山のようになっていました。また仙台空港の周辺は今だに手がついていない状態でした。

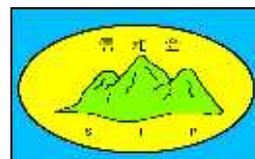
被災者の方々が一日も早く元の生活に戻れるまで、みんなで支えていかなければならないと強く感じた今回の応援でした。

中澤 正文・渡井 紀之



わ〜く穴山の里だより

多機能型事業所 わ〜く穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
: 0551-25-5866
E-mail : work@sip-shinwakai.jp



新年度に入り支援学校より、6月からはケアホームより利用をいただけることになり、登録人数を大幅に増やすことができ、施設運営上も軌道に乗せることができてきています。利用者においても施設で活動に慣れ始め楽しく生活が出来ていると思います、利用者の要望又特徴に合わせた活動になるよう細かい言動に注意、観察をし工夫を重ねながら支援に当たっていきたいと思います



2F 作業風景



余暇活動



花植え



昼食会

私は50代後半にこの施設にお世話になり4年目を迎えることとなります、前職とは全く違う職種に少々不安もありましたが、チームワークの良い職員と一緒に支援に当たり楽しい時間が経過しています。

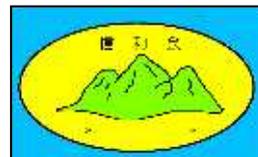
利用者様に対しては子供を育てた昔の事を思い出し、時には母となり、時には姉となり叱咤激励をしながら働いています。私には認知症の母がおり現在は特養の穴山の杜に入所させていただき感謝しております、母の介護が始まり5年が経過する中で、ヘルパーの資格をとり将来も面倒をみていく覚悟でしたが、母の足が不自由にもなり介護も大変になってきたところ入所させていただきました。今後も“感謝”の気持ちを忘れず仕事を辞めてからも、良い思い出となるよう頑張りたいと思います。



生活支援員 高橋 あき子

穴山の杜だより

特別養護老人ホーム穴山の杜
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
0551-25-6100
E-mail : mori@sip-shinwakai.jp



名言名句から学ぶ職員行動指針45番に『疑うがゆえにしり、知るがゆえに疑う』の一文があります。穴山の杜で改善提案制度を導入して3年目になります。初年度はとにかく提案を出すことに苦労し3件の目標をクリアーすることで精一杯だったようです。2年目で少し改善提案になる質の向上が見られました。このことは毎日繰り返される業務を当たり前としていてはそこに新たな発見(改善)はない。疑うことは学ぶ(改善する)上で大切な姿勢であると教えています。

今年度はこの名言を糧にさらに意欲的な改善提案が出されることを期待しています。

野菜作り 鶴3丁目



トピックス初夏編

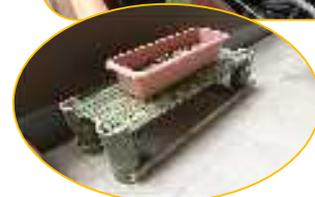
中山介護士の提案により、ベランダで野菜を栽培することになりました。何を植えたらいいかをスタッフで検討した結果、調理せずに食べられる物がいいのでは? ということでキュウリとミニトマトを植えることになりました。

プランターを乗せる台も中山介護士が苦心の末、施設隣の竹林の竹を使って立派な物が出来上がり、5月25日に苗の植え付けを行いました。

観葉植物とは違い、日に日に成長していく野菜はご利用者様の楽しみの一つとなり、「そろそろ、添え木をした方がいいね。」「今日は私が水をやるよ。」など皆でその成長を見守ってきました。

やがて、綺麗な花が咲き小さな実ができる頃には、今度は味わう楽しみが生まれます。日ごとに大きくなる野菜を見ては「あと少しで食べられそうだよ。」という声が聞かれるようになり、いよいよその日がやってきました。6月28日、大きく成長したキュウリを皆で収穫しました。カメラにはキュウリを持ってポーズをとるご利用者様の笑顔がいっぱいでした。

初めて収穫したキュウリは味噌をつけて皆で頂きました。今はたくさん実をつけているミニトマトが赤く色付くのを皆で待っています。



七夕飾りと貼り絵作り

6月26日、夏の風物詩七夕の飾りと、夏祭りに向けて貼り絵を制作しました。七夕飾りでは、色とりどりの短冊に利用者様がお願い事を書き飾り付けをしました。各ユニットそれぞれ個性的な飾り付けがされていて、見て回るのも楽しいです。

貼り絵は、ユニット毎に1~2枚づつを制作して、出来上がったところでそれぞれをつなげて、大きな1枚の絵の完成です。どんな大作になるのか今から楽しみです。



～取り組み紹介～

平成23年度 各委員会活動の紹介



今年度の穴山の杜事業計画に盛り込んだ全職員参加の7つの委員会活動について、その活動目的及び、内容について紹介します。今回は2つの委員会の紹介と活動内容です。

委員会名	目的	実施内容
感染症、褥瘡対策委員会 委員長 志村哲子	施設内での感染症を発生させない、持ち込まないための予防対策、発生時の対応 褥瘡症状の発生未然防止の徹底と対策	感染症対策 6月・各ユニットの冷蔵庫内の点検実施と感染対策グッズの確認 ノロウイルス対策の研修 テーマ「感染を広めないための汚物処理法」 6月15、22日 2回開催 23名参加 褥瘡対策 予防対策・全利用者の皮膚状態の把握と予防対策を検討（ユニット毎に一覧表を作成し1週間ごとに評価し対応策を検討実施する。 発生時の対応・現在皮膚状態悪化利用者に対して手作りの保護パッド使用と体交表による体交を実施している。
接遇、マナー苦情委員会 委員長 野澤佐知子	利用者、家族、職員間の基本的な礼儀、作法の徹底 笑顔、言葉使い、態度が相手に満足して頂ける対応を徹底 苦情への適切な対応、方策の検討周知	接遇・マナーについて ・毎月職員が実践すべき目標を設定し、ポスターを各ユニットや掲示板に掲示し、毎日目標達成できたか『自己チェック表』を用いて評価する。 4月目標 『元気にあいさつしよう』 5月、6月目標 『明るくおはようこんにちはと言おう』 ・外部講師を招き基本的なマナーについての研修会を実施 第1回 6月29日 27名参加 第2回 7月6日 42名参加 苦情について ・日頃から入居者やご家族の声に耳を傾け、意見・要望等を苦情受付担当者及び委員会に提起し迅速な対応をする。 4月から6月までの実績 相談件数 19件 苦情件数 5件



感謝録

(平成23年3月16日から平成23年6月15日)

～ご寄付を頂きました～(敬称略)

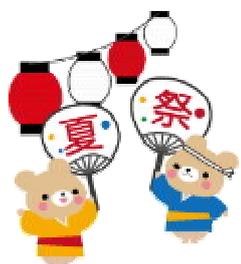
ありがとうございました。感謝いたします。

石澤應彦・大河原 護・長田一人・中村正信・佐藤正文
松本市民生児童委員・木村 禎子・弘津 力・小池 一
富士産業・香田 茂臣・日刊スポーツ新聞社(善意銀行)
穴山の里保護者会・アイム里親愛護サービス・小野正貴

～ご協力を頂きました～(敬称略)

ボランティア

佐藤 まゆみ ・初花会 保阪様他4名 ・松山会 大矢様
小島 加奈 ・寿美浩舞踊の会10名 ・いわき市 渡辺郁香
千野 公洋(太鼓)・角田 恵子・横内 公子(音楽)



社会福祉法人 信和会

第26回 地域ふれあい夏祭り

開催の御案内

日時: 8月6日(土)17:00～20:00

場所: 穴山の杜 芝生広場

信和会では例年通り「夏まつり」を開催いたします。
日頃よりお世話になっております関係者の皆様、地域の
多く皆様に楽しんでいただけるような充実したプログラ
ムを企画しております。

地域全戸へのご案内は差し上げませんがどうぞ近所
お誘い合わせのうえ、ご家族お揃いでお出かけ下さい。
法人一同心よりお待ちしております。

当日のプログラム予定

- 🌸 童謡歌手 星野 ひなこ ミニコンサート
- 🌸 韮崎吹奏楽団演奏(ジャズ演奏)
- 🌸 フラダンス 🌸 穴山の里太鼓 🌸 花火大会

お楽しみ出店

焼き鳥 焼きそば フランクフルト
もろこし 飲み物 綿菓子 カキ氷
その他 昔懐かしいポン菓子機の実演もごさいます。

ご自由にご利用ください。

訪問録

(平成23年3月16日から平成23年6月15日)

教育実習(敬称略)

小林祥子・吉崎都(帝京福祉専門学校)
小山留美・八巻香織・赤池さつき・秋山丈・
斉藤みさ・大塩秀樹・奥山美紀・鶴ヶ崎加代子
蓮沼素子(優和福祉専門学校)
山梨県歯科衛生士専門学校

体験実習(敬称略)

築野雄・柳田 一郎(わかば支援学校)

その他(敬称略)

松本市民生委員35名
岩下良一後援会28名
目黒区民生児童協議会北部第1区第2区33名
鶴川女子短期大学
平出 恭子

ご案内

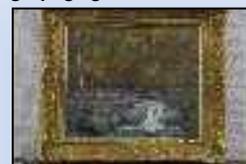
千野 恵教様絵画 個展開催

この度、千野恵教様が長年にわたって製作されたすばら
しい絵画33点を信和会に寄付して下さいました。

多くの皆様にもご鑑賞頂きたいと願っております。

日時: 平成23年8月1日～8月15日まで
毎日 午前10時～午後4時まで

場所: 社会福祉法人「信和会」
特別養護老人ホーム 穴山の杜
韮崎市穴山町5390
0551-25-6100



作者紹介



千野 恵^{シゲノリ}教様

町田市在住 (韮崎市龍岡町出身)
大正10年 3月31日生まれ
社会福祉法人「信和会」創設当時理事

仕事の傍ら絵画を趣味とし、丸紅株式会社絵画部のリーダ
ーとして部員の指導にあたりると同時に、自らも多くの作品
を描かれております。

千野恵教様の風景画にはふる里、韮崎・北杜の素晴らし
さ、環境に恵まれた地への思い入れが描かれているよう
です。